

パンデミックは人類全体に投げかけられた課題であることの意味
 していると言識させられる。ズレコロナウイルスは見えぬ存在
 で人類の無意識の内側奥深く侵入し強く劣化化するよう
 にと迫ってきている。悪魔のよう存在でもある。

なぜ世の中に悪魔が存在するのか。悪魔にも役割がある。
 人間はそこから何を学ぶ必要があるのだろうか。

ヨーロッパのキリスト教世界の悪魔には、ルシファーとアリマンという
 存在が知られている。

イエスが荒野にいらると悪魔の墮天使(ルシファー)がやって来る。悪魔は
 イエスを高山に連れて行って世界の国々の繁栄を見せて、「ひれ伏して
 われを拝めば、これらを全部やる」という。イエスは「神だけを拝み、
 神だけに仕えたいと誓っている」と答える。イエスは悪魔の誘惑を見
 抜いていた。墮天使はヒトの高慢さ、思い込みの傲慢さ、他人を見下し
 辰念しぬという心のエゴにつけこむように誘惑してくる存在であること。き。
 と多く医者は心とからだを治すことができず、「お医者さまは神さま
 とおたずねして、思い上がりしている。医者はあつなく多くの人間たちは自ら
 技術力で全を治すことのできるという精神のエゴを肥大させて
 いるため誘惑という詐欺にもはまり易いしコロナ禍の拡大ももたらされ
 てしまっている昨今である。イエスは「私は神の御仕えるもの」と答え
 る。悪魔の誘惑という試練を克服する本を私共に見された。

アリの悪魔のサタン(アリマン)はイエスを神殿の屋根の上に立て
 「神の子百ら飛び下りたらどうだ」という。イエスは「神を試しては
 いけない」として悪魔を退ける。さらに悪魔は「神の子なら、これらの
 石がパンになるように命じたらどうだ」という。イエスは「人はパンだけ
 に生きるものではない」と答えている。イエスは悪魔サタンのおどしを見
 抜いていた。サタンがヒトは、金をあせいで食うために生きようとする
 物質主義という物のエゴに生きているので、おどし不審恐怖を与えれば
 自由にほると考えていることを見抜いていた。と多く人間はヒトは考える
 アリである。とし、アリの思考をもつ人間力にこそ価値がある」との思い込みが
 ある。人間は精神に不審、恐れがあるので精神世界を否定し、唯物論の
 物質文明に埋没させてきた。イエスは人間が経済生活をつくる仕事
 だけでなく金にみせられない仕事をする存在でもあって
 どの人も公平・平等があり、各々の存在価値があって世界全体が一つの統一
 体を成していることを示された。こうしてサタンのおどしに乗りこえ力を
 私共に見されたのでした。

今時代は流れ、ヒトの価値観も変わり続けている。IT文明は
 ボーダレスのグローバル化で、統合時代の共同体意識をもって
 共生社会をつくることである。コロナのパンデミックは、そうした
 意識をもつことだとメッセージしていると思います。(院長)